




令和7年度

伊勢志摩地域における 進路や将来的な定住の意向に関する 高校生アンケート調査結果報告書

志摩市・伊勢市・鳥羽市・玉城町・度会町・南伊勢町

【事務局】志摩市 観光経済部 経済課

令和8年3月



目次

0 1	調査概要	P.3
0 2	回答者属性	P.4
0 3	アンケート回答結果	P.7
	①地域への愛着心	
	②地域への定住意思	
	③将来、出身地に戻る時期・タイミング	
	④希望進路	
	⑤希望業種	
	⑥希望企業の条件	
	⑦進学または就職を希望する地域	
	⑧出身市町外を希望する理由	
	⑨三重県外で希望する地域	
	⑩出身市町外を希望する理由	
	⑪将来、出身市町内やその周辺市町に戻る可能性	
	⑫戻る意思（可能性）がある理由	
	⑬出身市町に戻るために必要なもの	
	⑭出身市町に住み続けるために必要なもの（自由記述）	
0 4	アンケート様式	P.21

0 1 調査概要

目的：現在、伊勢志摩地域は、若者世代の人口流出と高齢化が進行しており、今後、地域の活力が低下し、地域社会そのものが維持できなくなることも危惧されています。

伊勢志摩地域の今後を担う高校生の進路や将来的な定住の意向を把握し、各市町が今後の雇用対策の取り組み及び企業誘致戦略等に活用するため、本アンケート調査を実施しました。

実施期間：令和7年10月～12月

対象者：伊勢志摩地域の高校2年生1,974人（計15校）

【南勢地区県立高校】

宇治山田高校、伊勢高校、伊勢工業高校、宇治山田商業高校、明野高校、南伊勢高校、鳥羽高校、志摩高校、水産高校、伊勢まなび高校

【国立高等専門学校・私立高校】

鳥羽商船高専、皇学館高校、伊勢学園高校、英心高校、代々木高校

回答方法：オンラインまたは郵送にて回答

回答数：1,370人（回答率：69.4%）

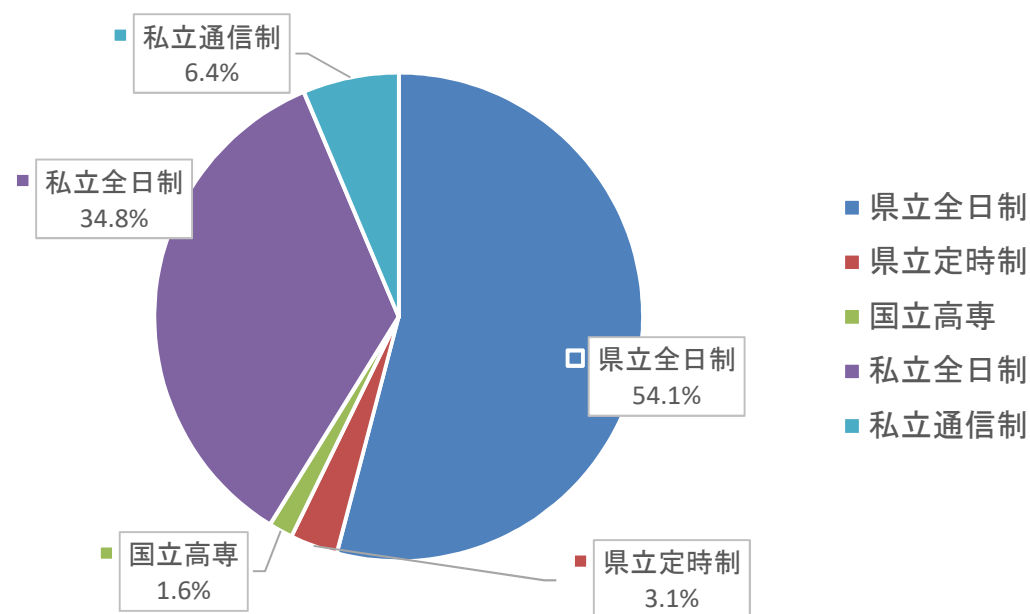
↳オンライン：923人（67.3%）

郵送(紙面)：447人（32.7%）

02 回答者属性

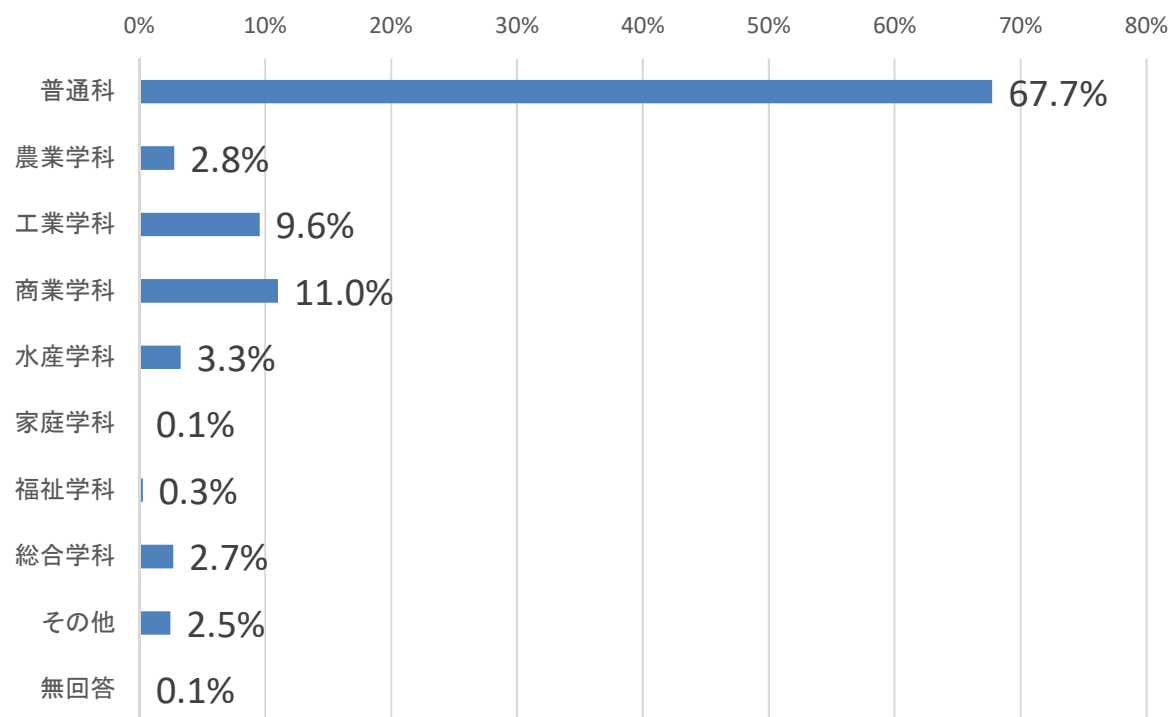
通っている高校の種別

	人数
県立全日制	741
県立定時制	43
国立高専	22
私立全日制	477
私立通信制	87
合計	1,370



所属する学科

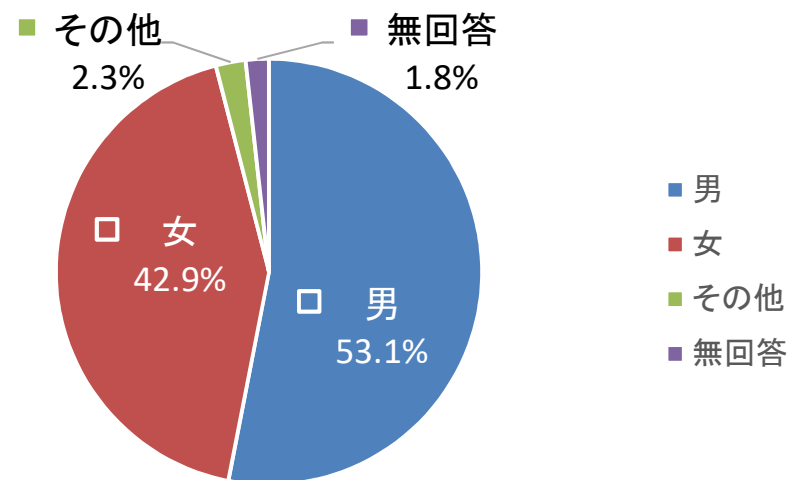
	人数
普通科	928
農業学科	38
工業学科	131
商業学科	151
水産学科	45
家庭学科	1
福祉学科	4
総合学科	37
その他	34
無回答	1
合計	1,370



02 回答者属性

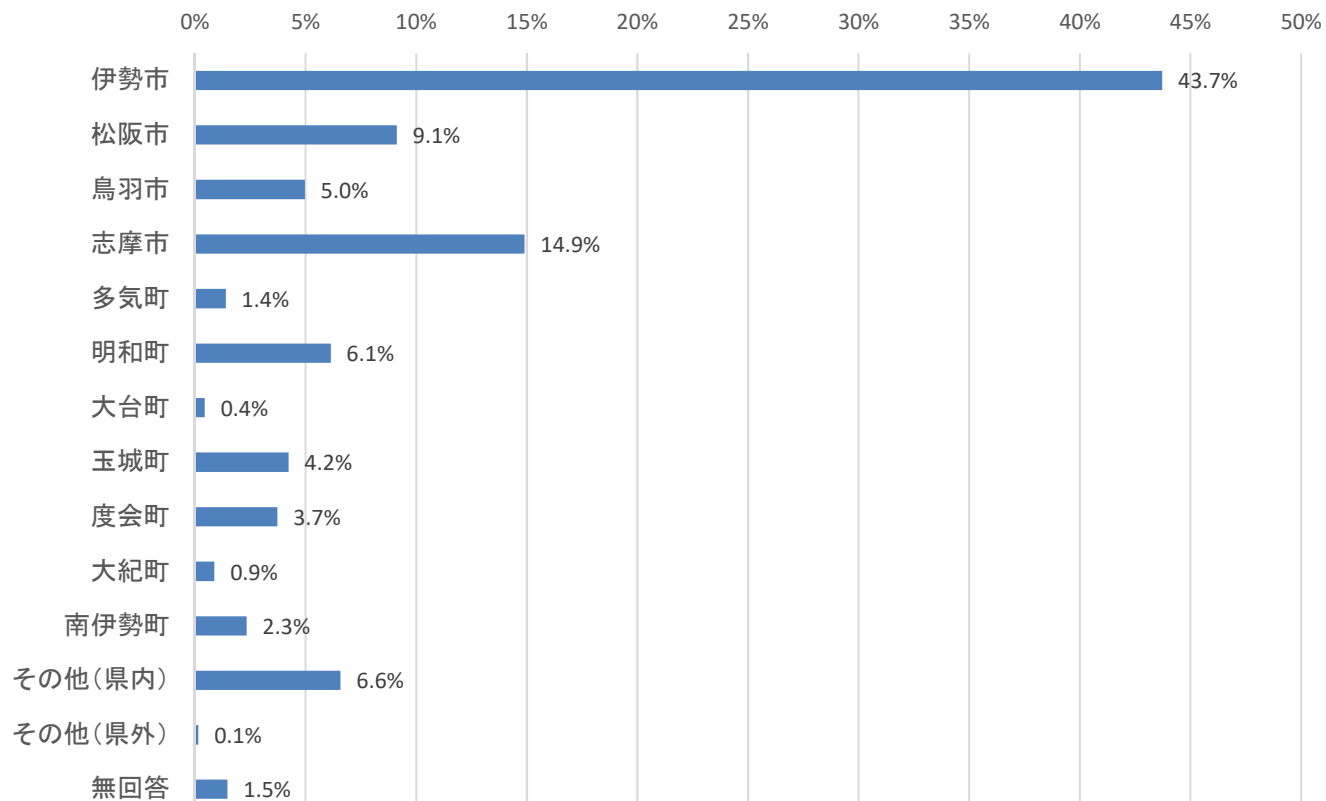
性別

	人数
男性	727
女性	588
どちらとも言えない 答えたくない	31
無回答	24
合計	1,370



自分が住んでいる地域（出身市町）

	人数
伊勢市	599
松阪市	125
鳥羽市	68
志摩市	204
多気町	19
明和町	84
大台町	6
玉城町	58
度会町	51
大紀町	12
南伊勢町	32
その他（県内）	90
その他（県外）	2
無回答	20
合計	1,370



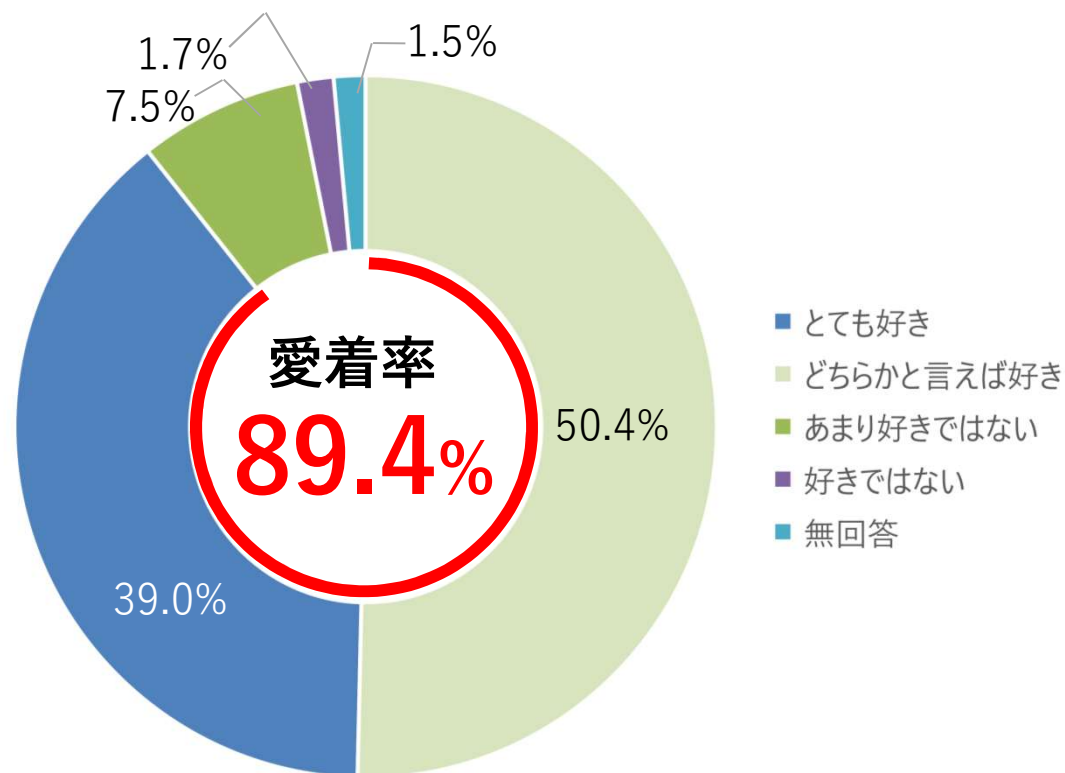
03 アンケート回答結果

①地域への愛着心

自分が住んでいる地域（出身市町）のことが好きですか

- ▶ 「とても好き」39.0%と「どちらかといえば好き」50.4%を合わせて、89.4%が自分が住んでいる地域のこと
が好きと回答しており、令和6年度の同調査結果と比較すると、若干減少したものの、多くの高校生が自分
が住んでいる地域を「好き」と回答しています。（R4:89.7%、R5:89.9%、R6:90.3%）

	人数
とても好き	534
どちらかといえば好き	690
あまり好きではない	103
好きではない	23
無回答	20
合計	1,370



(参考)

令和4年度～令和6年度進路や将来的な定住の意向に関する高校生アンケート

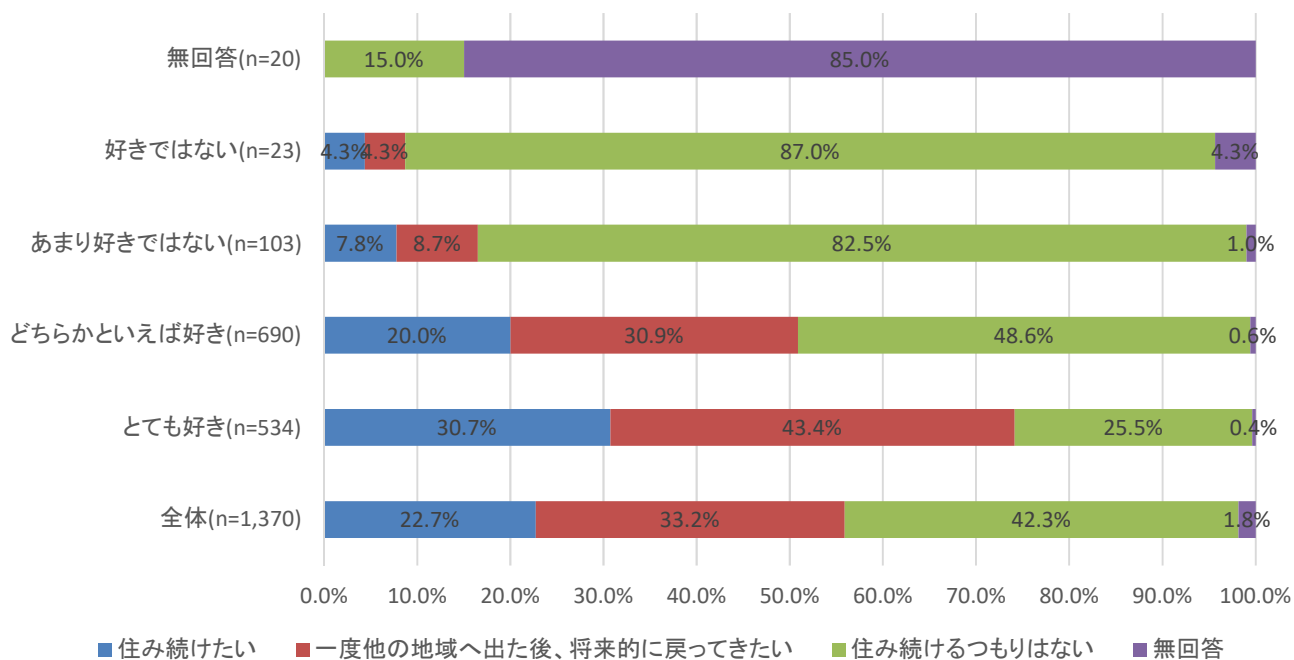
<https://www.city.shima.mie.jp/kakuka/sangyoshinkobu/shoko/koyou/4934.html>

②地域への定住意思

自分が住んでいる地域（出身市町）に住み続けたいですか

- ▶ 「住み続けたい」22.7%と「一度他の地域に出た後、将来的に、戻ってきたい」33.2%を合わせて、55.9%が自分が住んでいる地域への将来的な定住の意向を持っています。
- ▶ 地域への愛着心に関する質問の回答者の割合で見ると「とても好き」と回答した人が「住み続けたい」及び「一度他の地域に出た後、将来的に、戻ってきたい」の回答割合が74.1%と最も高く、「どちらかといえば好き」と回答した人の同回答割合が50.9%「好きではない」と回答した人が8.6%と最も低いことから、愛着心が定住意向に影響を与えている結果となりました。

	人数
住み続けたい	311
一度他の地域へ出た後、将来的に戻ってきたい	455
住み続けるつもりはない	579
無回答	25
合計	1,370



(参考)

令和4年～令和6年度進路や将来的な定住の意向に関する高校生アンケート

<https://www.city.shima.mie.jp/kakuka/sangyoshinkobu/shoko/koyou/4934.html>

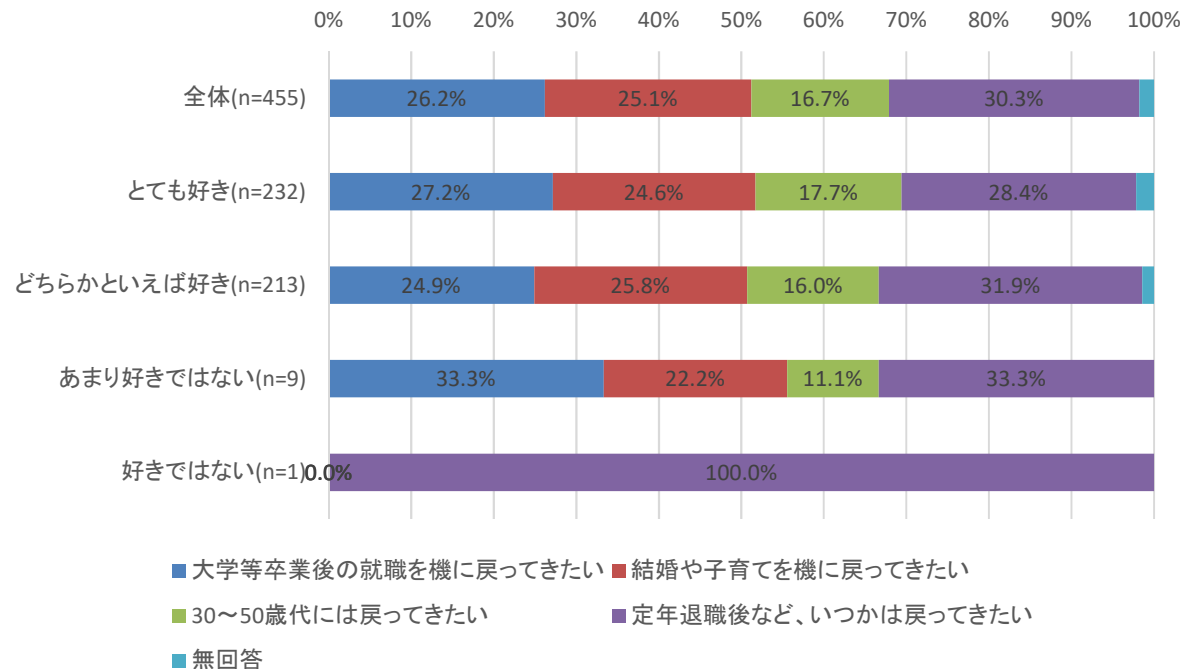
③将来、出身地に戻る時期・タイミング

将来的にいつ頃出身地に戻りたいと考えていますか

(②「将来的に戻ってきたい」回答者)

- ▶ 「定年退職後など、いつかは戻ってきたい」が30.3%と最も多く、次いで「大学卒業後の就職を機に戻ってきたい」が26.2%「結婚や子育てを機に戻ってきたい」が25.1%「30～50歳代には戻ってきたい」が16.7%の順に多くなっています。
- ▶ 令和6年度の同調査結果と比較すると、「結婚や子育てを機に戻ってきたい」が4.6%増加しており、一方で「定年退職後など、いつかは戻ってきたい」が4.8%減少しています。
- ▶ 地域への愛着心に関する質問の回答者の割合で見ると、「どちらかといえば好き」と回答した者が「結婚や子育てを機に戻ってきたい」と回答した者の割合が15.8%から25.8%と大幅に増加しています。

	人数
大学卒業後の就職を機に戻ってきたい	119
結婚や子育てを機に戻ってきたい	114
30～50歳代には戻ってきたい	76
定年退職後など、いつかは戻ってきたい	138
無回答	8
合計	455



(参考)

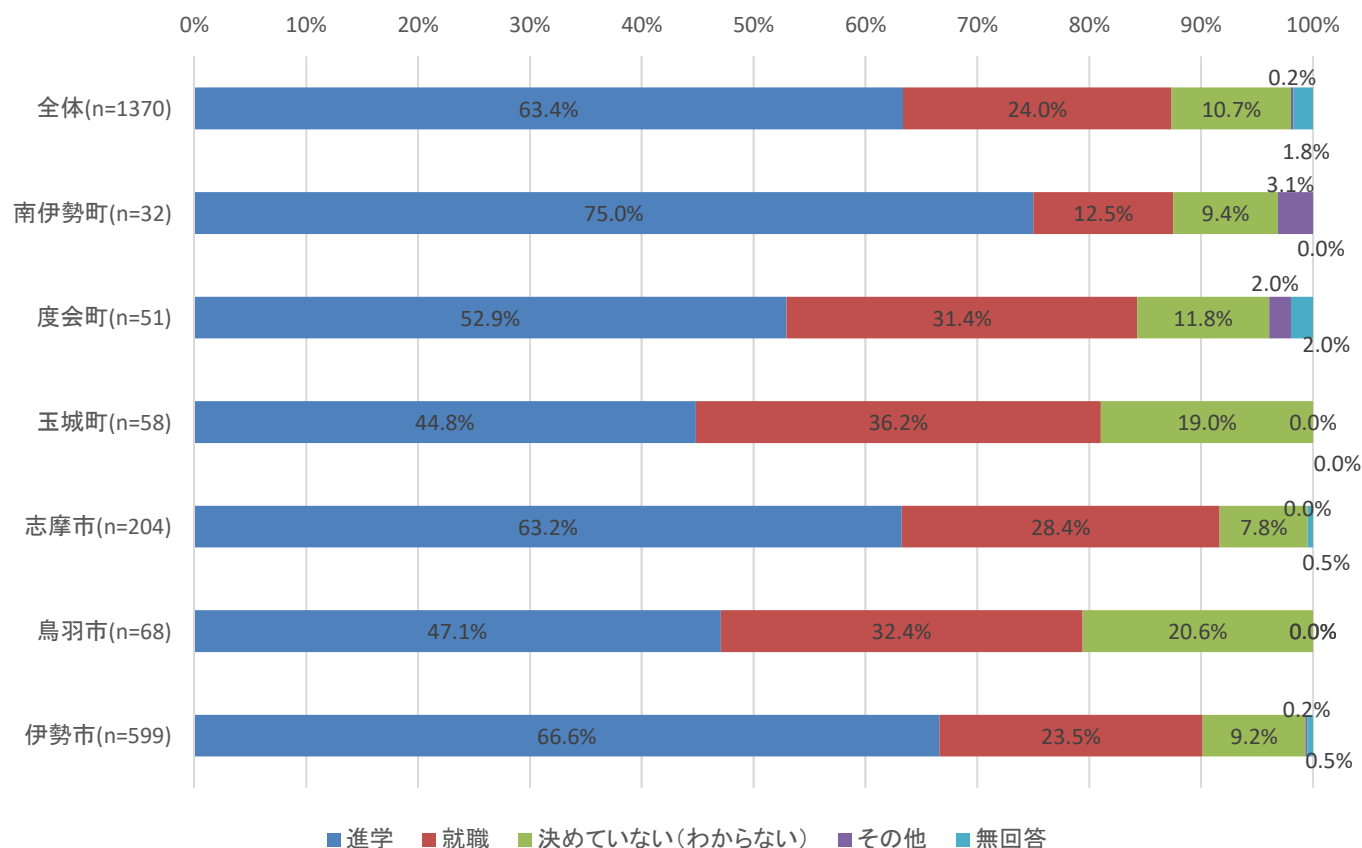
令和4年度～令和6年度進路や将来的な定住の意向に関する高校生アンケート
<https://www.city.shima.mie.jp/kakuka/sangyoshinkobu/shoko/koyou/4934.html>

④希望進路

希望する進路

- ▶ 「進学」が63.4%と「就職」24.0%の約2.6倍の数値となっています。
- ▶ 令和6年度の同調査結果と比較すると「進学」を希望する人の割合が減少し、「就職」を希望する人の割合が増加しています。（「進学」R6:68.1%「就職」R6:21.8%）
- ▶ 出身市町別では、南伊勢町の出身者が「進学」を希望する割合が75.0%と最も高く、玉城町の出身者が「就職」を希望する割合が36.2%と最も高くなっています。

	人数
進学	868
就職	329
決めていない (わからない)	146
その他	3
無回答	24
合計	1,370



(参考)

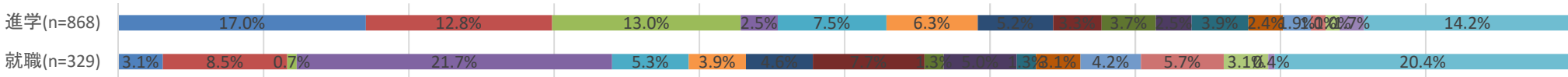
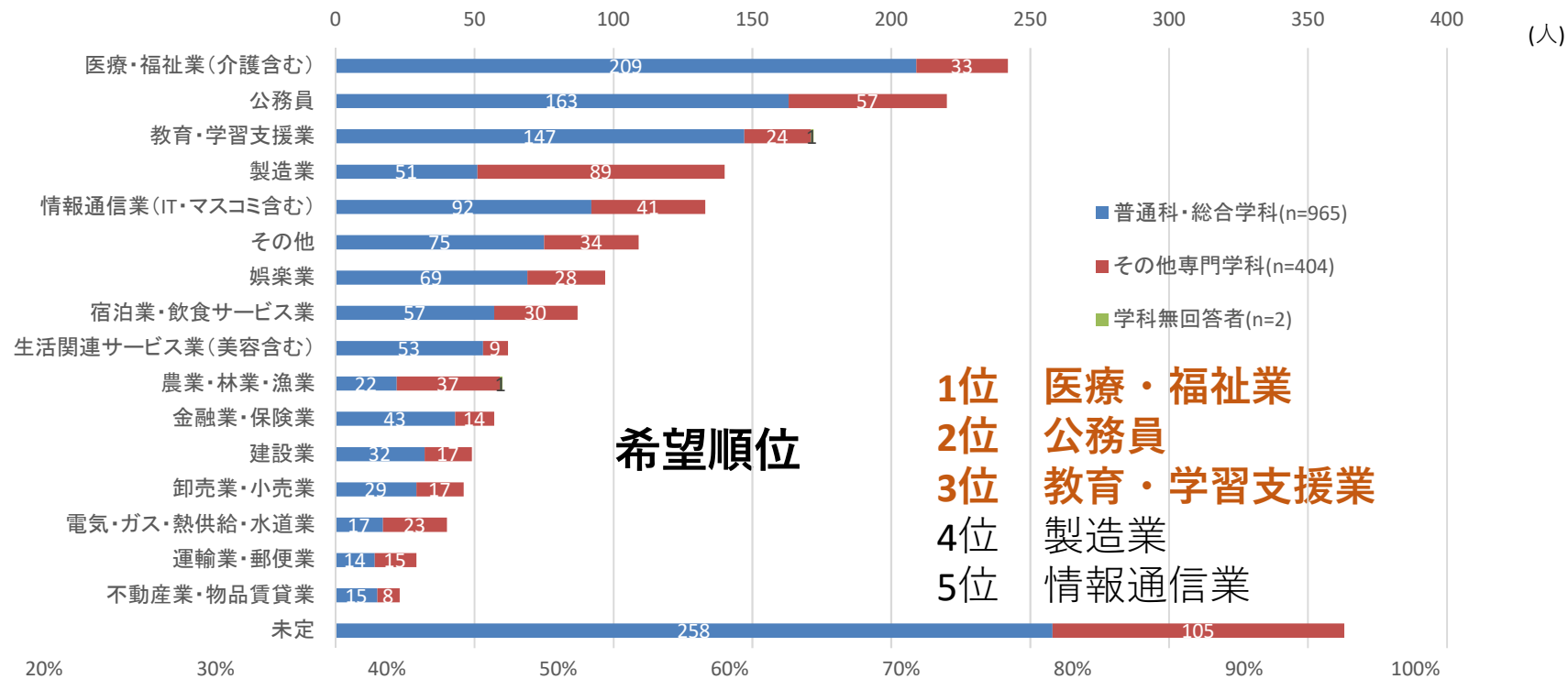
令和4年度～令和6年度進路や将来的な定住の意向に関する高校生アンケート
<https://www.city.shima.mie.jp/kakuka/sangyoshinkobu/shoko/koyou/4934.html>

⑤希望業種

将来、就職を希望する業種（仕事内容） ※複数回答可

- ▶ 昨年度と同様「医療・福祉業」が242人と最も多く、続いて「公務員」220人「教育・学習支援業」172人の順となっています。
- ▶ 令和4年度からの同調査結果と比較すると、TOP5の希望業種は同じとなっています。
- ▶ 希望進路別では、進学希望者は「製造業」を除くTOP5の業種を希望する割合が高く、就職希望者は「製造業」を希望する割合が突出しています。
- ▶ 「普通科、総合学科」よりも「その他専門学科」に在籍する学生の方が「製造業」「農業・林業・漁業」を希望する割合が高くなっています。

n=1,349（無回答21除く）	人数
医療・福祉業	242
公務員	220
教育・学習支援業	172
製造業	140
情報通信業（IT・マスコミ含む）	133
その他	109
娯楽業	97
宿泊業・飲食サービス業	87
生活関連サービス業（美容含む）	62
農業・林業・漁業	60
金融業・保険業	57
建設業	49
卸売業・小売業	46
電気・ガス・熱供給・水道業	40
運輸業・郵便業	29
不動産業・物品賃貸業	23
決めていない	460



- 医療・福祉業(介護含む)
- 公務員
- 教育・学習支援業
- 製造業
- 情報通信業(IT・マスコミ含む)
- その他
- 娯楽業
- 宿泊業・飲食サービス業
- 生活関連サービス業(美容含む)
- 農業・林業・漁業
- 金融業・保険業
- 建設業
- 卸売業・小売業
- 電気・ガス・熱供給・水道業
- 不動産業・物品賃貸業
- 未定
- 運輸業・郵便業

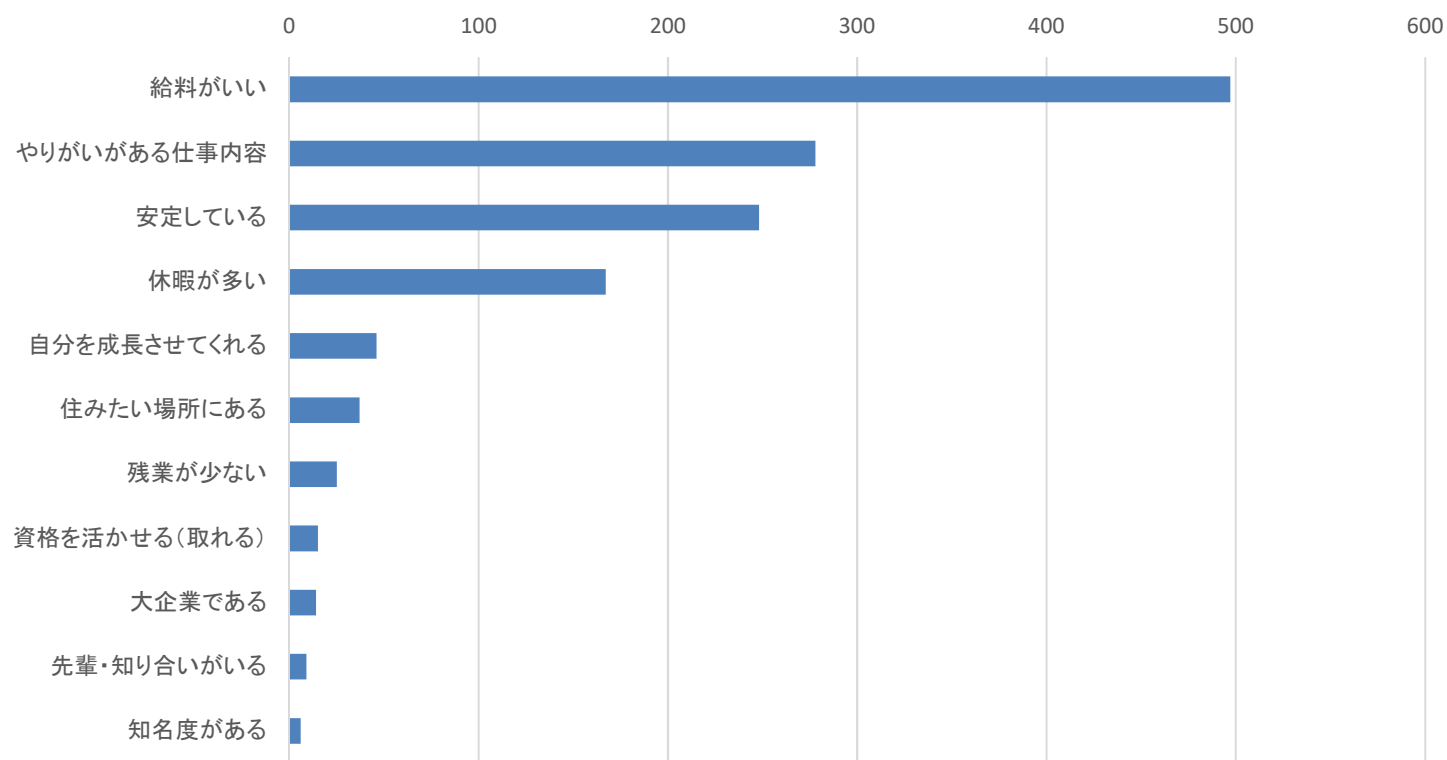
⑥希望企業の条件

将来、就職を希望する企業の条件

※上位3つ回答のうち、最も重視する条件

- ▶ 「給料がいい」が497人と最も多く、次いで「やりがいのある仕事内容」が278人となっており、企業規模や知名度よりも生活基盤を安定させること優先するとともに、自己実現と精神的な豊かさを求めていることが伺えます。
- ▶ 「給料がいい」「やりがいのある仕事内容」「安定している」「休暇が多い」の4つが回答の約89%を占めることから、学生が生活基盤の安定を求めるとともに高い生活の質（QOL）求めていることが伺えます。
- ▶ 「住みたい場所にある」との回答は約2.8%に留まり、「住む場所」と「働く場所」を切り離して考えている傾向が伺えます。

n=1,342（無回答除く）	合計
給料がいい	497
やりがいのある仕事内容	278
安定している	248
休暇が多い	167
自分を成長させてくれる	46
住みたい場所にある	37
残業が少ない	25
資格を活かせる（取らせてくれる）	15
大企業である	14
先輩・知り合いがいる	9
知名度がある	6



(参考)

令和4年度～令和6年度進路や将来的な定住の意向に関する高校生アンケート

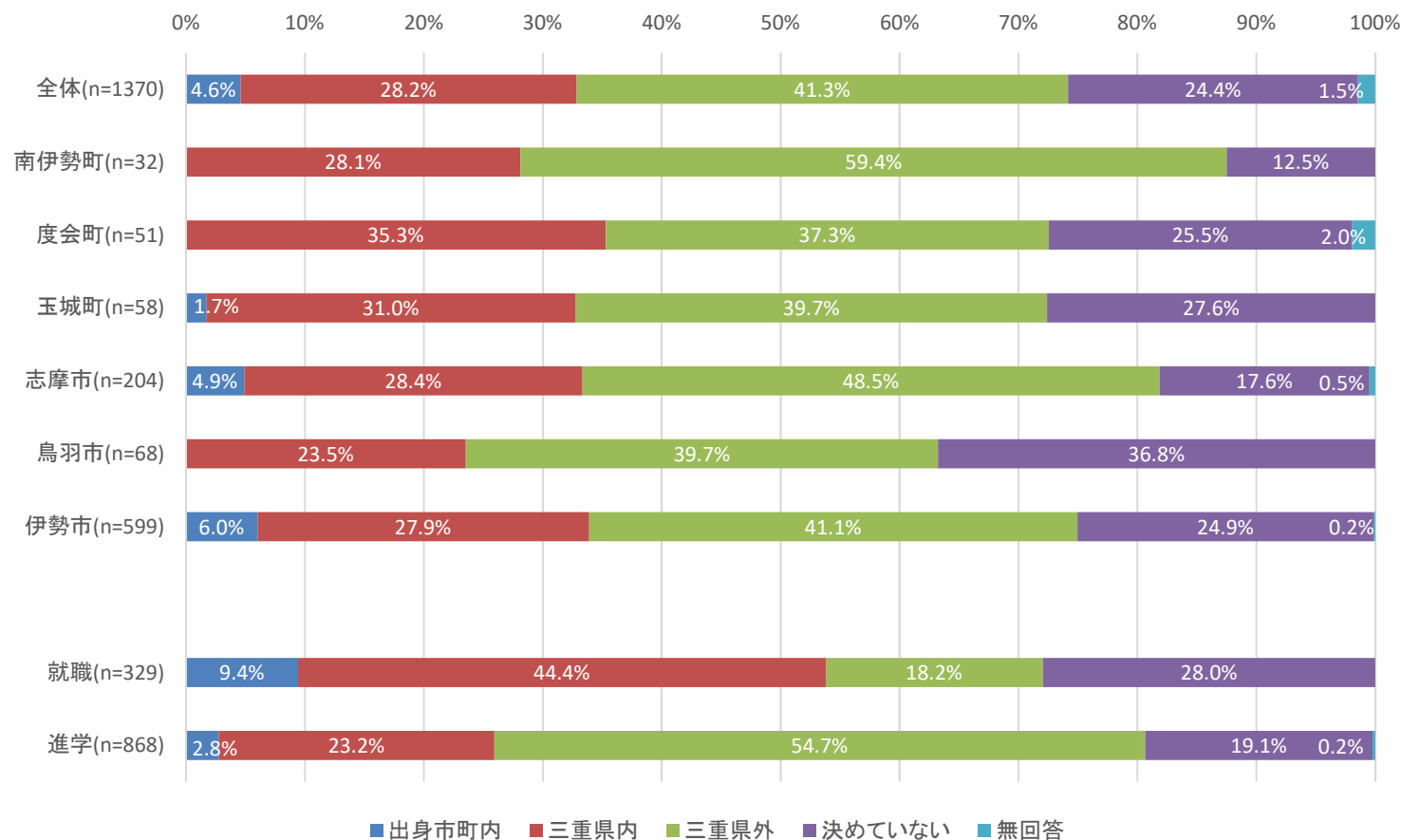
<https://www.city.shima.mie.jp/kakuka/sangyoshinkobu/shoko/koyou/4934.html>

⑦進学または就職を希望する地域

高校卒業後に進学または就職を希望する地域

- ▶ 「三重県外」が41.3%と最も多く、次いで「三重県内」が28.2%「決めていない」が24.4%「出身市町内」が4.6%の順に多くなっています。
- ▶ 令和6年度の同調査結果と比較すると、どの地域を選択した割合もほぼ同水準となっています。
- ▶ 希望進路別では、進学希望者は「三重県外」、就職希望者は「三重県内」を希望する割合が高くなっています。

	人数
出身市町内	63
三重県内	387
三重県外	566
決めていない	334
無回答	20
合計	1,370



(参考)

令和4年度～令和6年度進路や将来的な定住の意向に関する高校生アンケート

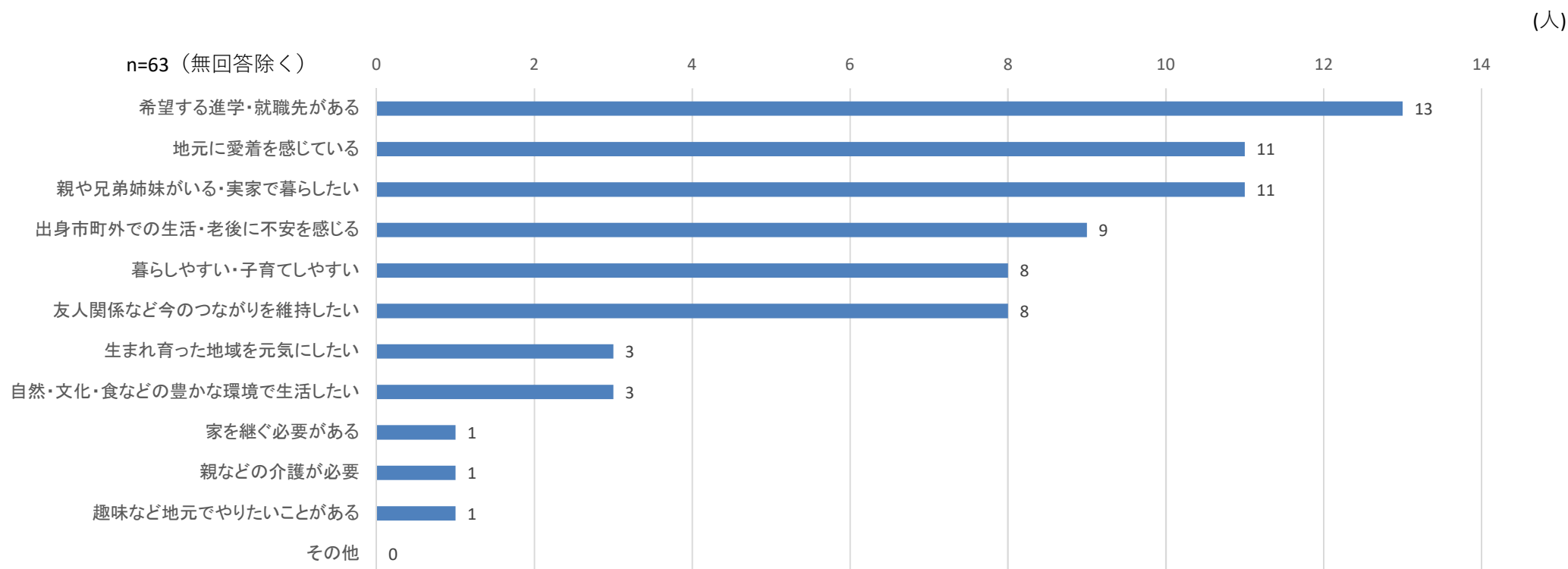
<https://www.city.shima.mie.jp/kakuka/sangyoshinkobu/shoko/koyou/4934.html>

⑧出身市町内を希望する理由

出身市町内への進学または就職を希望する理由

(⑦「出身市町内」回答者) ※3つまで回答可

- ▶ 「希望する進学先・就職先がある」の13人が最も多い結果となりました。
- ▶ 「地元へ愛着を感じている」「親や兄弟姉妹がいる・実家で暮らしたい」の回答が多く、出身市町内への進学・就職と地元への愛着が高い関連性があることが伺えます。
- ▶ 「暮らしやすい・子育てしやすい」と回答した人が令和6年度の同調査結果と比較すると減少しています。



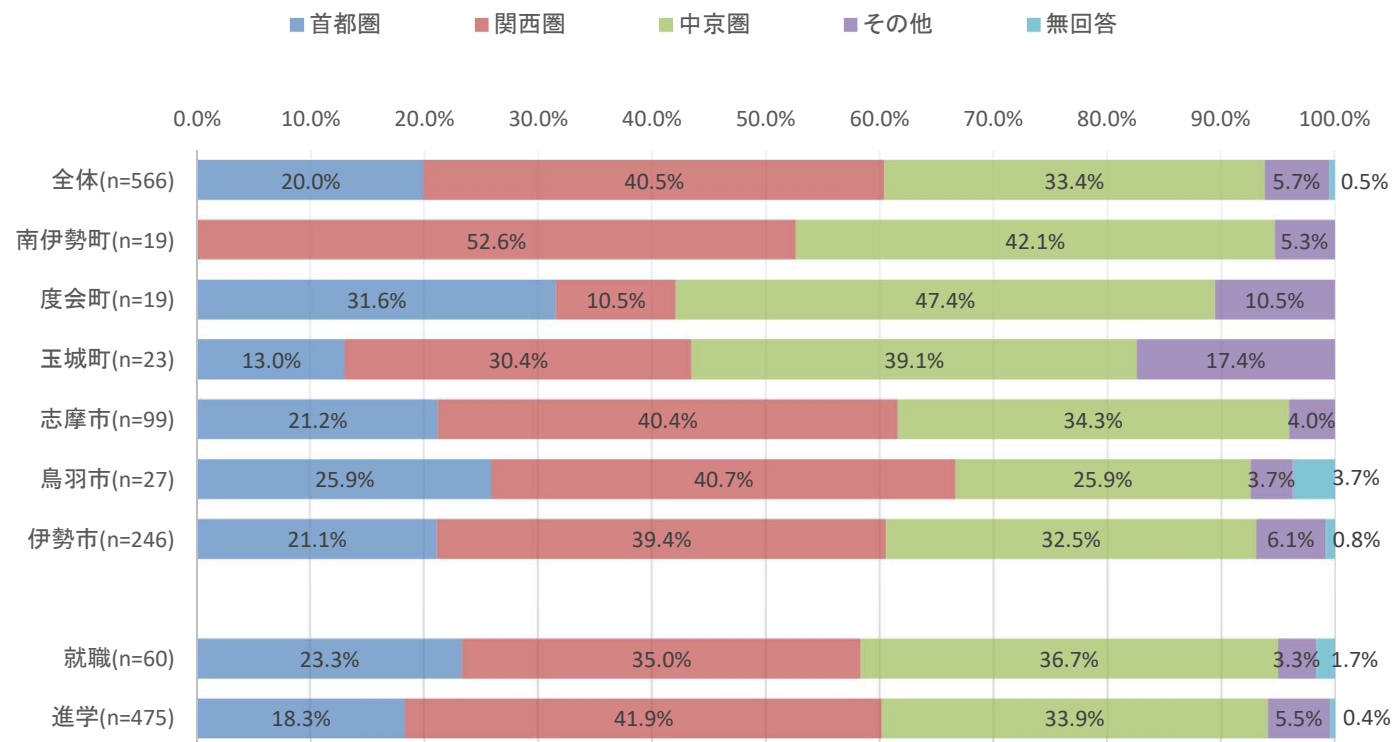
⑨三重県外で希望する地域

三重県外で進学または就職を希望する地域

(⑦「三重県外」回答者)

- ▶ 「関西圏」が40.5%と最も多く、次いで「中京圏」が33.4%「首都圏」が20.0%の順に多くなっています。
- ▶ 希望進路別では、令和6年度同調査と比較すると就職を選択した人のうち「首都圏」を選択した人の割合が8.6%下がり、一方で「関西圏」を選択した人は11.4%増えています。

	件数
首都圏	113
関西圏	229
中京圏	189
その他	32
無回答	3
合計	566



(参考)

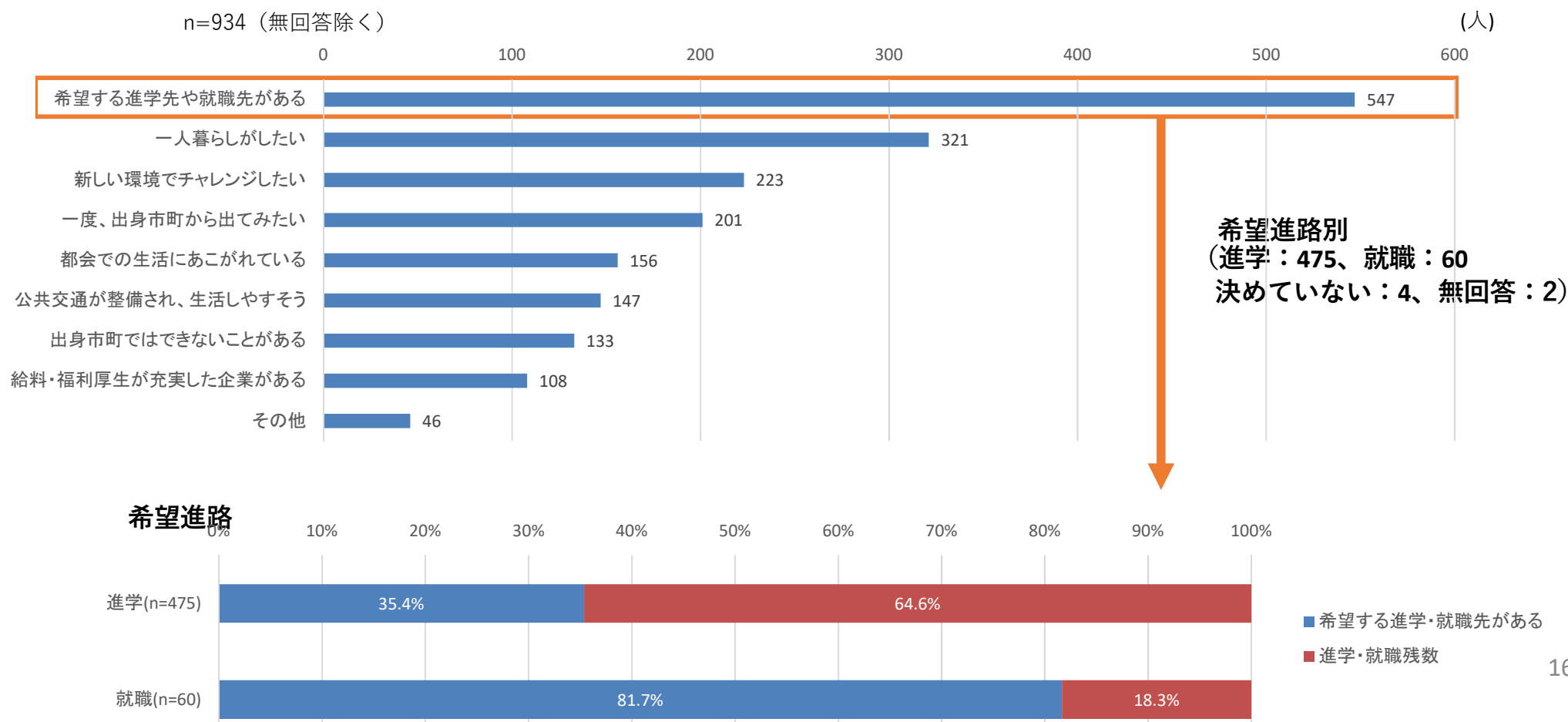
令和4年度～令和6年度進路や将来的な定住の意向に関する高校生アンケート
<https://www.city.shima.mie.jp/kakuka/sangyoshinkobu/shoko/koyou/4934.html>

⑩出身市町外を希望する理由

出身市町外に進学または就職を希望する理由

(⑦「三重県内」または「三重県外」回答者) ※3つまで回答可

- ▶ 「希望する進学先や就業先がある」が547人と最も多く、本理由により出身市町外への進学を希望する人が進学希望者全体の64.6%、本理由により出身市町外への就職を希望する人が就職希望者全体の18.3%となっています。
- ▶ 次いで、「一人暮らしがしたい」が321人「新しい環境でチャレンジしたい」が233人「一度、出身市町から出てみたい」が201人の順で多くなっており、進学または就職で新しい環境を求めていることが伺えます。



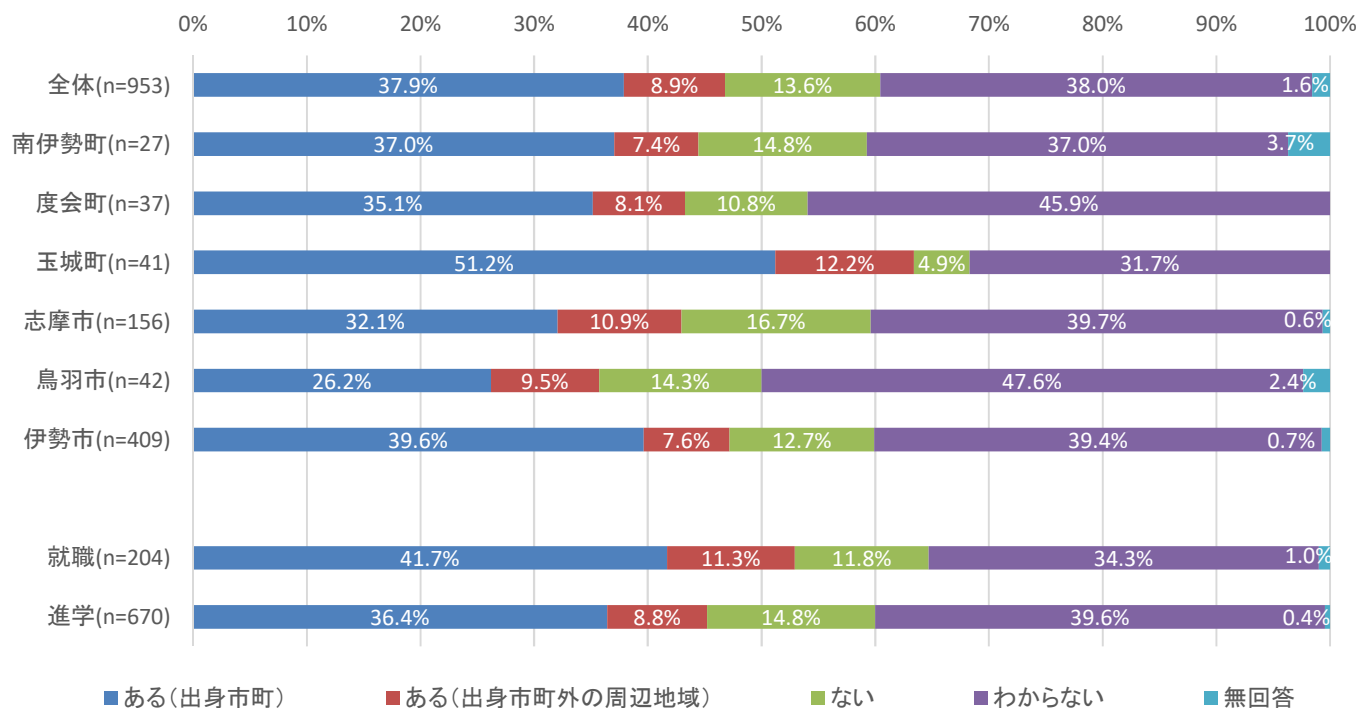
⑪将来、出身市町内やその周辺市町に戻る可能性

将来的に出身市町またはその周辺地域に戻る意思（可能性）の有無

（⑦「三重県内」または「三重県外」回答者）

- ▶ 「わからない」が38.0%で最も多く、次いで「ある（出身市町）」が37.9%「ない」が13.6%「ある（出身市町外の周辺地域）」が8.9%の順に多くなっています。
- ▶ 令和4年度からの同調査結果と比較すると、「ある（出身市町）」が年々増加しています。（「ある（出身市町）」 R4:24.2% R5:32.0%、R6:35.4%）
- ▶ 出身市町別で比較すると、「ある（出身市町）」では伊勢市が39.6%「ない」では志摩市が16.7%とそれぞれ最も高くなっています。

	人数
ある（出身市町）	361
ある（出身市町外の周辺地域）	85
ない	130
わからない	362
無回答	15
合計	953



（参考）

令和4年度～令和6年度進路や将来的な定住の意向に関する高校生アンケート

<https://www.city.shima.mie.jp/kakuka/sangyoshinkobu/shoko/koyou/4934.html>

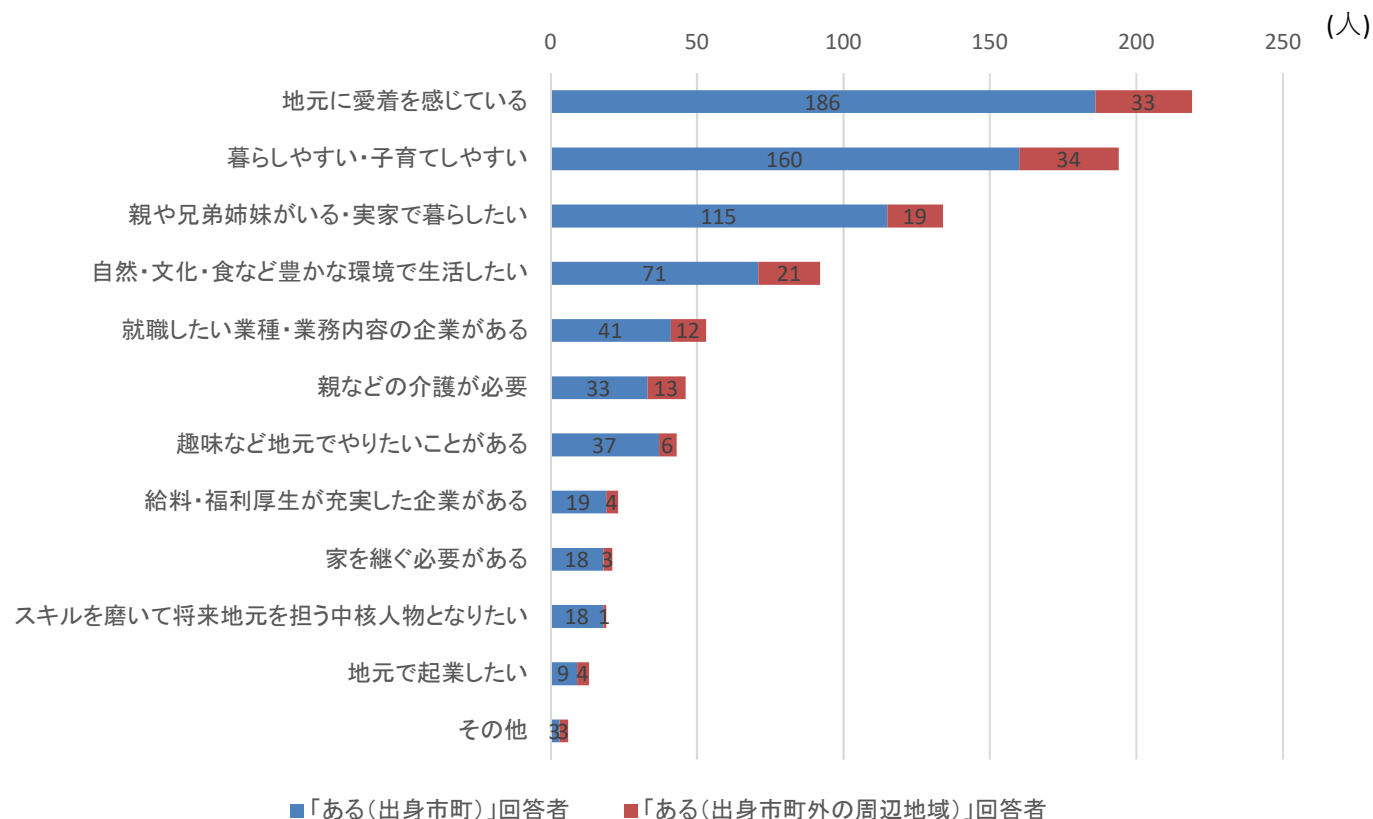
⑫戻る意思（可能性）がある理由

将来的に出身市町またはその周辺地域に戻る意思（可能性）がある理由

（⑪「ある（出身市町）」または「ある（出身市町外の周辺地域）」回答者） ※3つまで回答可

- ▶ 「地元に着愛着を感じている」が219人と最も多く、次いで「暮らしやすい・子育てしやすい」が194人、「親や兄弟姉妹がいる・実家で暮らしたい」が134人の順で多くなっており、仕事よりも生活環境を理由に挙げています。

n=440（無回答除く）	件数
地元に着愛着を感じている	219
暮らしやすい・子育てしやすい	194
親や兄弟姉妹がいる・実家で暮らしたい	134
自然・文化・食などの豊かな環境で生活したい	92
就職したい業種・業務内容の企業がある	53
親などの介護が必要	46
趣味など地元でやりたいことがある	43
給料・福利厚生が充実した企業がある	23
家を継ぐ必要がある	21
スキルを磨いて、将来の地元を担う中核人物になりたい	19
地元で起業したい	13
その他	6



⑬出身市町に戻るために必要なもの

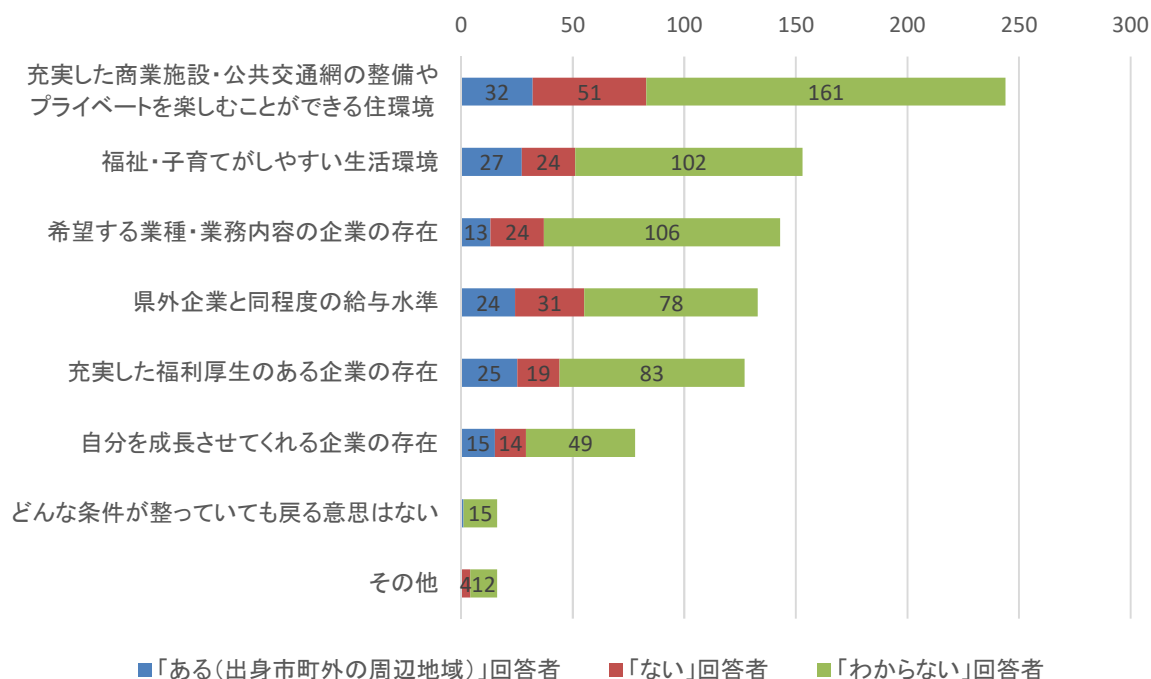
将来的に出身市町に戻るために必要なもの

(⑪「ある（出身市町外の周辺地域）」、「ない」、「わからない」回答者) ※3つまで回答可

- ▶ 「充実した商業施設・公共交通網の整備やプライベートを楽しむことができる住環境」が244人と最も多く、次いで「福祉・子育てがしやすい生活環境」が153人となっており、将来的に出身市町に戻るためには生活環境の充実が最も必要となっています
- ▶ 次いで、「希望する業種・業務内容の企業の存在」が143人「県外企業と同程度の給与水準」が133人「充実した福利厚生のある企業」が127人の順で多くなっており、生活環境の次に仕事を重要視していることが伺えます。

(人)

n=577（無回答除く）	人数
充実した商業施設・公共交通網の整備やプライベートを楽しむことができる住環境	244
福祉・子育てがしやすい生活環境	153
希望する業種・業務内容の企業の存在	143
県外企業と同程度の給与水準	133
充実した福利厚生のある企業の存在	127
自分を成長させてくれる企業の存在	78
どんな条件が整っていても戻りつもりはない	16
その他	16



⑭出身市町に住み続けるために必要なもの（自由記述） ※一部抜粋

【生活の利便性に関する回答】

- ・ 今よりももっと整備された公共交通機関。
- ・ 電車もバスも少ないから不便に思って、外の地域に魅力を感じてしまうから、改善する。
- ・ 交通の便が悪く、どこに行くのも不便なので公共交通機関を増やす。娯楽施設や商業施設を増やす。
- ・ 都会にしかない施設などを作る。大型ショッピングモールを作るべきだと思う。
- ・ 電車の本数を増やす。京都、大阪などへの直通電車を出す。
- ・ 自転車用の道の整備など、交通機関の整備が必要だと感じる。
- ・ スーパーや交通機関を増やす。田舎に住んでいる人たちが不便と感ずることをなくす。
- ・ 近くに遊べる場所や食べられるところが欲しい。
- ・ お店や公園、自然がある、子育てや生活しやすい環境。
- ・ 商店街がシャッター街となっているので、食べ歩きなどがあるのもいいと思う。
- ・ 飲食店や公園などを増やしたら、遊べたりできるので少子高齢化の防止になる。
- ・ 道路がボコボコ過ぎて事故しそう。きちんと整備してほしい。

【進学や仕事に関する回答】

- ・ 仕事の数増加。良い企業があり、地元で働き、充実した住生活ができるように。
- ・ 進学や就職先が少ないので、自宅から通いやすいように公共交通機関を充実させる。
- ・ 様々な業種を呼ぶ。職業選択をもっと自由に思い通りに。
- ・ 働きたいと思えるオフィスを増やす。
- ・ 安定した給料がもらえる企業を増やす。給料を上げる。
- ・ 専門的な分野を学べないために県外へ行く。
- ・ 雇用口がなければ人は住みつかない。魅力的な仕事であること。
- ・ 若者たちが働きたいと思える先進的な企業やお店。
- ・ 都会と同程度の企業本拠地が地方にも必要。
- ・ 仕事場を増やす。特にデスクワークができる環境など。
- ・ 高校や大学が少ないからもう少しあってほしい。
- ・ オンライン上で完結できる仕事のリモート環境の提供。
- ・ 就職先や子育て支援が複数あり、地元で活躍できる人材が広まること。

【地域全般（行政サービス含む）】

- ・ ゴミのポイ捨てが多いので対策してほしい。
- ・ 度会町は自然が多く静かで子育てがしやすいので、そっち方面の施策を。
- ・ 過疎化をとめて、都会にまけないくらいの経済成長をするべき。
- ・ 子育て支援、社会保障制度を充実させること。
- ・ 治安が良く暮らしやすい環境が大切だと思う。
- ・ 地域の課題を1つ1つ無くしていくこと。
- ・ 昔ながらのことも大切だけど、新しいことにも挑戦していく。
- ・ 出身市町の魅力を見つける。知名度を上げる。
- ・ SNSなどを生かして魅力をアピールする。
- ・ 盛り上がるイベントを企画する。地域の人を楽しめるもの。
- ・ 補助金やインフラ整備などをもっとしてほしい。
- ・ 1人1人にあった地域づくりは無理でも、多くの人に住み続けたい地域づくり。
- ・ 子どものときに他県や海外に行って、最終的に「地元が一番」と思える町づくり。
- ・ あたたかい町づくり。Uターンした人への支援金。
- ・ 地元愛が高まる教育。思い出を作れるようなことをしていく。
- ・ 経済的や福祉的な補助（出産・子育て・介護）を幅広い人に提供する。
- ・ 自分の出身市町を誇れるようにする。
- ・ 災害対策（大地震のリスク低下など）に取り組む。
- ・ 住民の意見を聞き、それを実行する努力。
- ・ 伝統文化を大事にし、イベントなどの楽しいことをする。
- ・ みんながルール・マナーを守り、また戻ってきたいと思える環境。
- ・ 若者もまちづくりに参加できるしくみ。
- ・ 母子家庭への支援や、多子世帯への支援金を確立させる。
- ・ 介護従事者への負担を減らす取り組み。
- ・ 病院で出産できるなどの医療の充実。
- ・ 都会への中核機能集中を避け、地方分散を進める。
- ・ 古い常識を覆す努力。
- ・ 高齢者主体の生活になっているので、若者にも目を向ける。
- ・ 人を増やす。地域の活動を増やして活性化させる。

